



中华人民共和国国家卫生和计划生育委员会

National Health and Family Planning Commission of the People's Republic of China

解説「手足口病観測パイロットオペレーション方案」

衛生計生委

www.nhfpc.gov.cn

2015-10-16

一、起草の背景

手足口病は、我が国児童の生命健康にとって重大な脅威であり、**2008**年より法定伝染病丙類として管理されるようになった。手足口病の特徴に対する認識深化と流行の予防制御の変化に伴い、疾病モニタリングへの必要性が日増しに高まってきた。手足口病の科学的予防管理を促進する目的で「手足口病予防管理マニュアル(2009年版)」における病原学モニタリングと法定報告内容の基礎に立ち、国家衛生計生委組織が組織した中国疾病管理センター専門家が「手足口病観測パイロットオペレーション方案(以下『方案』)」を制定した。

二、主な内容

(一) 観測目的：

『方案』は主に、重症患者と死亡患者の観測を強化することで、重症・死亡患者のキーとなる情報を収集すること；病原学観測を展開し、手足口病患者中の腸管ウィルス血清タイプ及び**EV-A71**と**CV-A16**の遺伝子特性を解明すること；アウトブレイクの規模と特徴を掌握することで、有効にこの病気を処置する際の根拠を提供すること

(二) 観測範囲と周期：

手足口病の流行の趨勢や地理的位置、工作条件などの要素に基づき、北京市と内蒙古自治区、吉林省、江蘇省、浙江省、安徽省、河南省、湖南省、広東省、雲南省と甘肅省など**11**の省を実験省とし、各省で一つの実験市、前哨病院1箇所を選び、観測活動を展開する。観測活動は**2015年10月1日**を以て正式スタートし、**2016年9月30日**に終了するという**1**年間のテスト期間とする。

(三) 観測内容と方法：

観測には重傷者と死亡者の観測が含めた、軽症患者の前哨観測を行い、アウトブレイクを観測し、ウィルス分離や遺伝子のタイプ分けとその他腸管ウィルスの血清型鑑定まで観測すること。医療機関が見つけた重症・死亡患者はネットワークでダイレクトに瞬時に報告をあげ、その事案の調査を展開せねばならない。患者に対しては病原学検査を実施し、獲得した核酸情報は速やかにデータベースに登録すること。

(四) 観測品質管理

中国疾病管理センターは、『方案』に関連する技術文献もセットにして制定しているが、工作人員のトレーニングを展開、観測データを収集、整理、分析をして、観測システムの運行状況を評価する。パイロット期間中、国家省・市は、観測を実施する省におけるネットワーク実験室構築や医療機関による活動の完成状況を監督指導する。

(五) 組織管理：

各地は『方案』の要求に基づき組織を構築、衛生計生行政部門が組織の協調を図り定期的な組織指導とその評価を、疾病管理機構が患者の情報収集やデータ報告、実験室での検査、技術指導と品質管理を、医療機関が、患者の発見や報告、サンプル採集など関連作業を行えるように整えて、パイロット工作が秩序正しく展開されることを保障する。

<http://www.nhfpc.gov.cn/zhuzhan/zejid/201510/4f209399c3714f53ac9d48f495741d04.shtml>

宮本注：国立感染症研究所の手足口病に関する記事(手足口病 **2002**～**2011**年)が皆様の参考になるかと
思料しましたので **URL** を右記に記します：<http://idsc.nih.go.jp/iasr/33/385/tpc385-j.html>

《手足口病监测试点运行方案》解读

卫生计生委 www.nhfpc.gov.cn 2015-10-16

一、起草背景

手足口病是我国儿童生命健康的严重威胁，于 2008 年纳入法定的丙类传染病。随着对手足口病疾病特征认识的不断加深及疫情防控形势的变化，疾病监测需求日益提升。为促进手足口病科学防控，在《手足口病预防控制指南（2009 版）》中病原学监测和法定报告内容基础上，国家卫生计生委组织中国疾控中心专家制定了《手足口病监测试点运行方案》（以下简称《方案》）。

二、主要内容

（一）监测目的。

《方案》主要是加强重症和死亡病例的监测，规范收集重症和死亡病例的个案关键信息；开展病原学监测，阐明手足口病病例中肠道病毒血清型构成及 EV-A71 和 CV-A16 的基因特征；掌握暴发疫情规模和特点，为有效处置疫情提供依据。

（二）监测范围和周期。

根据手足口病疫情形势、地理位置、工作条件等因素，选择北京市、内蒙古自治区、吉林省、江苏省、浙江省、安徽省、河南省、湖南省、广东省、云南省和甘肃省等 11 个省份作为试点省份，在每省份选择 1 个试点地市及所属 1 家哨点医院开展监测工作。监测工作于 2015 年 10 月 1 日正式启动，2016 年 9 月 30 日结束，运行周期为 1 年。

（三）监测内容和方法。

监测包括重症和死亡病例监测，轻症病例哨点监测，暴发疫情监测，病毒分离、基因分型和其他肠道病毒血清型鉴定监测。医疗机构发现的重症和死亡病例网络直报的同时，要开展个案调查。对于病例要进行病原学检测，获得的核酸信息要及时录入数据库。

（四）监测质量控制。

中国疾病预防控制中心制定《方案》相关配套技术文件，开展工作人员培训，收集、整理和分析监测数据，对监测系统运行状况进行评估。试点期间，国家、省和地市将组织对监测省份网络实验室、医疗机构工作完成等情况的督导。

（五）组织管理。

各地根据《方案》要求组织实施，卫生计生行政部门负责组织协调，定期组织督导和考核，疾控机构负责开展病例信息收集、数据上报、实验室检测、技术指导和质控，医疗机构负责病例发现、报告及标本的采集等相关工作，保障试点工作有序开展。

相关链接：

国家卫生计生委办公厅关于开展手足口病监测试点工作的通知

(<http://www.nhfpc.gov.cn/jkj/s3577/201510/0b35e4029e9a4b41a50141ce4d1343df.shtml>)